

平成 30 年度一般会計 2 月補正予算（第 6 号）概要

〔一般会計〕

（単位：百万円、％）

区 分		予 算 額	財 源 内 訳			
			国 庫	県 債	その他	一 般
平成 30 年度	現 計 予 算 額	<b>977,527</b>	167,818	46,851	193,640	569,218
	補正予算額（第 6 号）	<b>▲9,292</b>	4,089	5,614	<b>▲20,050</b>	1,055
	補正後現計予算額（A）	<b>968,235</b>	171,907	52,466	173,590	570,272
平成 29 年度 2 月現計予算額（B）		<b>978,118</b>				
比 較	増減額（A）－（B）	<b>▲9,883</b>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 東日本大震災津波関係分の補正額：▲18,869 百万円</li> <li>〔 30 年度の大震災津波関係予算の累計：275,673 百万円 〕</li> <li>〔 22 年度 7・8 号補正からの累計       ：3,456,542 百万円 〕</li> <li>・ 通常分の補正額：9,577 百万円</li> </ul> </div>			
	増減率（％）	<b>▲1.0</b>				

（注）精査の結果、計数に異同を生ずることがあります。  
内訳は、四捨五入の関係で一致しない場合があります。

〔予算編成の考え方〕

- ・ 国の補正予算に対応して災害復旧や防災・減災事業などの予算を措置したほか、県税等歳入の最終見込みや事業費の確定に伴う所要の整理等を実施

〔主な事業〕

- ・ 別紙のとおり

## 平成 30 年度一般会計 2 月補正予算（第 6 号）における主な事業

### 通常分

（補正予算額：9,577 百万円）

#### 1 国の 1 次補正予算への対応事業（補正予算額：1,129 百万円）

##### 熱中症対策としてのエアコン設置

[新]・施設整備費（校舎大規模改造事業）（1,129 百万円）〔教育委員会〕

児童生徒等の熱中症対策のための空調（冷房）設備の整備に要する経費

#### 2 国の 2 次補正予算への対応事業（補正予算額：27,765 百万円）

※補正後現計額は、国補正以外分と国補正対応分を合わせた事業費の総額である。

##### (1) 防災・減災・国土強靱化

- ・ 国定公園等施設整備事業費（36 百万円）【補正後現計 53 百万円】〔環境生活部〕  
栗駒国定公園の利用者等の防災・減災対策を図るための歩道橋の整備に要する経費
- ・ 障害者支援施設等整備費補助（86 百万円）【補正後現計 86 百万円】〔保健福祉部〕  
社会福祉法人等が行う障害者支援施設等の整備に要する経費を補助
- ・ 農道整備事業費（238 百万円）【補正後現計 349 百万円】〔農林水産部〕  
老朽化した農業用道路の点検診断・補強等の保全対策に要する経費
- ・ 農村地域防災減災事業費（603 百万円）【補正後現計 1,388 百万円】〔農林水産部〕  
地域において効果的な防災・減災対策を講じるための農業用施設保全対策に要する経費
- ・ 農村災害対策整備事業費（236 百万円）【補正後現計 350 百万円】〔農林水産部〕  
災害を未然に防止するため、農業用施設の整備に要する経費
- ・ 治山事業費（165 百万円）【補正後現計 1,237 百万円】〔農林水産部〕  
山地災害を防止するための治山ダム等の整備に要する経費
- ・ 道路環境改善事業費（3,727 百万円）【補正後現計 7,300 百万円】〔県土整備部〕  
法面对策、道路施設の停電対策などの緊急対策に要する経費
- ・ 地域連携道路整備事業費（2,584 百万円）【補正後現計 6,439 百万円】〔県土整備部〕  
緊急輸送道路等の改築などの緊急対策に要する経費
- ・ 基幹河川改修事業費（1,500 百万円）【補正後現計 2,109 百万円】〔県土整備部〕  
県管理河川の改修、支障木除去、土砂撤去などの緊急対策に要する経費

- ・ 総合流域防災事業費（河川）（339 百万円）【補正後現計 682 百万円】〔県土整備部〕  
県管理河川における洪水浸水想定区域図作成、河川監視カメラ整備などの緊急対策に要する経費
- ・ 総合流域防災事業費（砂防）（598 百万円）【補正後現計 1,593 百万円】〔県土整備部〕  
土砂災害警戒区域の指定のための調査、砂防堰堤の整備などの緊急対策に要する経費
- ・ 砂防激甚災害対策特別緊急事業費（500 百万円）【補正後現計 1,500 百万円】〔県土整備部〕  
平成 28 年台風第 10 号災害被災箇所における砂防堰堤の整備などに要する経費
- ・ 交通安全施設整備費（10 百万円）【補正後現計 766 百万円】〔警察本部〕  
信号機電源付加装置の整備に要する経費

## (2) T P P 協定の早期発効に対応するための農林水産業の強化対策

- ・ 畜産競争力強化整備事業費補助（1,094 百万円）【補正後現計 2,605 百万円】〔農林水産部〕  
「畜産クラスター協議会」が定める“中心的な経営体”に対し、施設整備を支援するための経費
- ・ 経営体育成基盤整備事業費（5,751 百万円）【補正後現計 8,885 百万円】〔農林水産部〕  
営農の効率化と低コスト生産、担い手の確保・育成を図るためのほ場整備に要する経費
- ・ 中山間地域総合整備事業費（150 百万円）【補正後現計 1,268 百万円】〔農林水産部〕  
地域の実情に応じた農業生産基盤を整備するための経費

- [新] ・ 合板・製材・集成材生産性向上・品目転換促進対策事業費（609 百万円）〔農林水産部〕  
合板・製材・集成材等の工場に低コストで安定的に原木を供給するための間伐材の生産及び路網整備を支援

## (3) その他喫緊の課題への対応

### 《国民生活の安全・安心の確保》

- ・ 保育士修学資金貸付等事業費補助（105 百万円）【補正後現計 108 百万円】〔保健福祉部〕  
岩手県社会福祉協議会が行う保育士資格取得に係る修学資金等の貸付事業の実施に要する経費を補助

### 《災害復旧等》

- ・ 林道災害復旧事業費（192 百万円）【補正後現計 301 百万円】〔農林水産部〕  
平成 28 年、平成 29 年及び平成 30 年発生災害により被災した林道の災害復旧に要する経費
- ・ 河川等災害復旧事業費（2,430 百万円）【補正後現計 3,236 百万円】〔県土整備部〕  
平成 28 年、平成 29 年及び平成 30 年発生災害により被災した河川、道路等の災害復旧に要する経費
- ・ 港湾災害復旧事業費（190 百万円）【補正後現計 237 百万円】〔県土整備部〕  
平成 28 年台風第 10 号災害により被災した港湾施設の災害復旧に要する経費

## 《地方創生の拠点整備》

- [新]・ いわてスポーツクライミング拠点形成推進事業費（393 百万円）〔文化スポーツ部〕  
国際大会等に対応できるボルダリング施設の県営運動公園内への整備に要する経費
- [新]・ ヘルスケア産業集積拠点整備費補助（1,350 百万円）〔商工労働観光部〕  
県工業技術センターが行うヘルスケア産業の集積促進のための開放研究施設の整備に要する経費を補助

### 3 その他（国の補正予算対応事業以外）（補正予算額：▲19,317 百万円）

- ・ 生活福祉資金貸付事業推進費補助（965 百万円）【補正後現計 1,063 百万円】〔保健福祉部〕  
岩手県社会福祉協議会が行う生活福祉資金貸付事業の実施に要する経費を補助
- ・ みたけ学園みたけの園整備事業費（127 百万円）【補正後現計 486 百万円】〔保健福祉部〕  
老朽化・狭隘化が著しい当施設の移転に要する経費
- ・ 高度救命救急医療等提供拠点整備費補助（135 百万円）【補正後現計 2,386 百万円】〔保健福祉部〕  
岩手医科大学が附属病院と一体的に行う当該拠点の整備に要する経費を補助
- ・ 特定区域産業活性化奨励事業費補助（22 百万円）【補正後現計 353 百万円】〔商工労働観光部〕  
企業が行う特定区域における工場増設事業の実施に要する経費を補助
- ・ 除雪費（1,551 百万円）【補正後現計 4,680 百万円】〔県土整備部〕  
県管理道路における除排雪及び路面の凍結防止対策の実施に要する経費
- [新]・ 県単独河川災害復旧助成事業費（51 百万円）〔県土整備部〕  
河川災害復旧助成事業で発生する残土処理用地の取得に要する経費

## 震災分

（補正予算額：▲18,869 百万円）

### 震災分の事業

- ・ いわての学び希望基金積立金（100 百万円）【補正後現計 417 百万円】〔復興局〕  
寄附金のいわての学び希望基金への積立
- ・ 東日本大震災復興交付金基金積立金（2,510 百万円）【補正後現計 6,622 百万円】〔復興局〕  
復興交付金の東日本大震災復興交付金基金への積立